

入賞作品紹介 3

小学生の部親子賞 優秀賞

読む知る学ぶ

E! 新聞

新聞でつながる

会津若松市、
一箕小6年 八木橋 環さん

四年生から、私は学校の宿題で、新聞の記事を切り抜き、要約と感想を書く自主学習を取り入れています。他の教科の自主学習より時間がかかり、少し大変ですが、記事の大事な内容を読み取ることが少しずつできるようになったので、読む楽しさをどんどん感じるようになりました。記事に対する自分の感想で共通していたのは、「なるほど」「考えが変わった」「自分だっ

たら」という言葉でした。改めて、新聞から、これまで考えたこともなかったようなことについて、考えるきっかけをもらっているように思います。自主学習を先生に提出して返ってくる時、そこに先生からのコメントが欠かさず書いてあります。それを読むのがいつも楽しみでした。そこには内容の大事なところや、先生の意見なども書かれていて、読みながら

ニヤニヤしてしまっている私を見て「何？何？」と、その自主学習のペー

ジを母が読みます。すると、「ママが思うのはね」と今度は、母が熱く語り始めます。一つの記事で、こんな風に広がっていくことがとても楽しくて、もっともっと記事

新聞で語る

母 八木橋 民枝さん

いつもテレビの音や音楽が賑やかに流れている我が家ですが、朝食後はテレビが消され、娘たちの歯磨きの音と、新聞

のことを話したくなりま

した朝の時間も良いものです。自分が小学生のとき、新聞といえば、テレビ欄のチェックをするくらいのものでしたので、新聞を夢中で読む娘の姿には驚かされます。とはいえ、大好きなスポーツの記事が読む中心のようですが、「〇〇選手、海外に移籍するんだって」「バレー、付属高校が勝ったよ」と、朝食の片付けをする私に教えてくれます。娘が起きてくる前に見ていたテレビで、大体のことを知っているニュースもあります。が、「へえ、それで？」と聞き続けると、中には地元選手の新しい情報もあったりして、そんなや

りとりも楽しい時間です。

ただ、嬉しい記事ばかりではないのが新聞です。娘のスポ少の帰りに、たまたま居合わせた交通事故現場。「きっと大丈夫」と救急車を見送った二日後、新聞に悲しい記事が載っていました。娘と二人で涙したことを、今でも忘れません。

新聞を通して、娘とさまざまな出来事について語り、笑い、怒り、悲しみ、また笑い、を繰り返しています。日常の何気ないことに感謝する気持ちも生まれています。今日もまた、娘は「うそ！マジで？」とコメントしながら新聞を読み進めています。